

Fuel Cell for Mekong Delta

～ 燃料電池プロジェクトニュースレター ～

July 2019

今月のPHOTO

7月7日(日)から多くの日本人メンバーに来越頂き、SOFCの発電試験を行いました。今回発電効率、62.5%を達成しました。この発電効率は世界最高レベルでとなります。

プレスリリース
(九大)

<http://www.kyushuu.ac.jp/ja/researches/view/362>

(毎日新聞)

<https://mainichi.jp/articles/20190802/k00/00m/020/176000c>



↑INTメンバーと日本側メンバーの集合写真。

プロジェクトACTIVITIES

7月11日(木)から、ロードマップグループの藤本先生に来越頂き、カントーとハノイを訪問頂きました。カントーでは持続可能な養殖業の為の国際協力センター(ICAFIS)への訪問やCTUとの協議、ハノイではJICAベトナム事務所での協議の他、SATREPS実施中のNISAを訪問させて頂きました。



↑ICAFISを訪問している様子。



↑NISAプロジェクト視察の様子。

プロジェクトACTIVITIES

「今月のPhoto」でも紹介しましたが、7月7日(日)からSOFCの発電試験を行い、世界最高レベルでの発電効率を得る事が出来ました。併せて、エビ養殖場の汚泥のみを用いたバイオガス発酵試験も開始しました。現在順調にバイオガスが発生しています。



↑エビ養殖場の汚泥回収に関して検討する山川先生と白鳥先生



↑SOFCのシステムに関してLinhさんに説明する白鳥先生と折島さん。

プロジェクトACTIVITIES

7月28日(日)から、栗原先生に来越頂き、実証サイトにてエビの成長確認、現在の養殖状況の確認や海藻試験用の海藻のメンテナンスなどを行って頂きました。



↑エビの測定を行う栗原先生

今後のPlan

8月の短期専門家来越予定:

藤本(静大): 8月21日から8月29日

中塚(ダイセン): 8月21日から8月24日

白鳥(九大): 8月25日から8月29日

栗原(九大): 8月25日から8月29日

8月のイベント

8月27日、28日:

カントー大学環境学部とのワークショップ

文責: 業務調整・中山

